

# 室内用コンポスト モニター調査結果報告

市民生活部市民課

環境衛生係

(平成29年10月)

## I 調査の目的

生ごみの自家処理を行うことにより、可燃ごみ排出量の減少が期待できることから、室内用コンポストを用いてモニタリングを実施し、生ごみ減量化の効果を検証する。

## II 調査方法

### 1) 調査対象者

平川市在住で生ごみ減量化モニター募集に申込みをした方。

### 2) モニター機器及び募集定員

室内用コンポスト

募集定員50名

### 3) 調査方法

毎戸チラシによりモニターを募集し、モニター機器を配付、3ヶ月使用後に調査票により報告を受ける。配付したモニター機器は回収しない。

### 4) 調査期間・応募者及び回答者

平成29年7月15日（土）から平成29年10月15日（日）まで

応募者50名

回答者35名（70%）

### 5) 調査内容

調査期間内において、室内用コンポストを使用し、堆肥化による生ごみの減量化の効果について検証するため、アンケート調査を実施する。

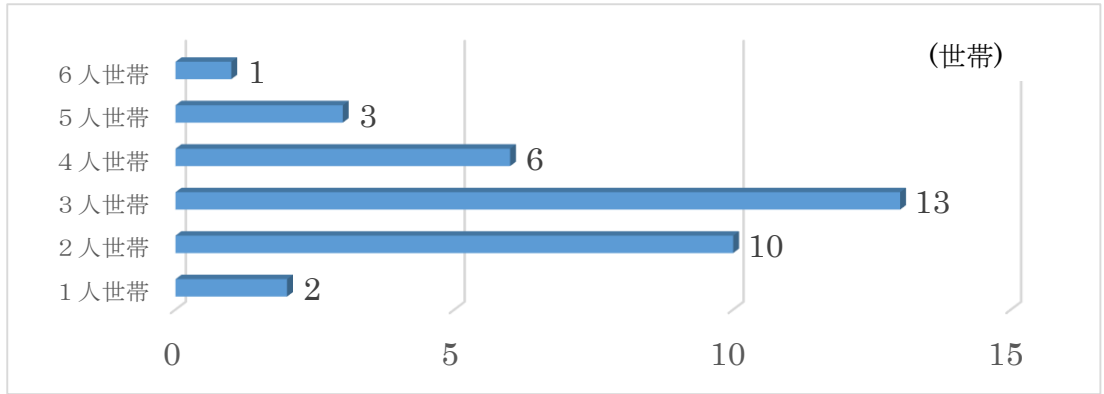
### 6) 申込・提出先

平川市役所 市民生活部 市民課 環境衛生係

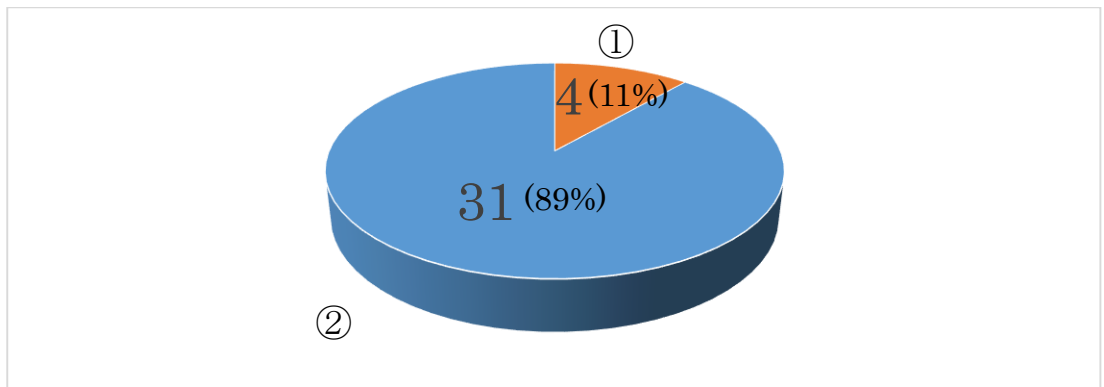
### 7) 調査票の提出期限

平成29年10月23日（月）

【1】 家族構成についてお知らせ下さい。

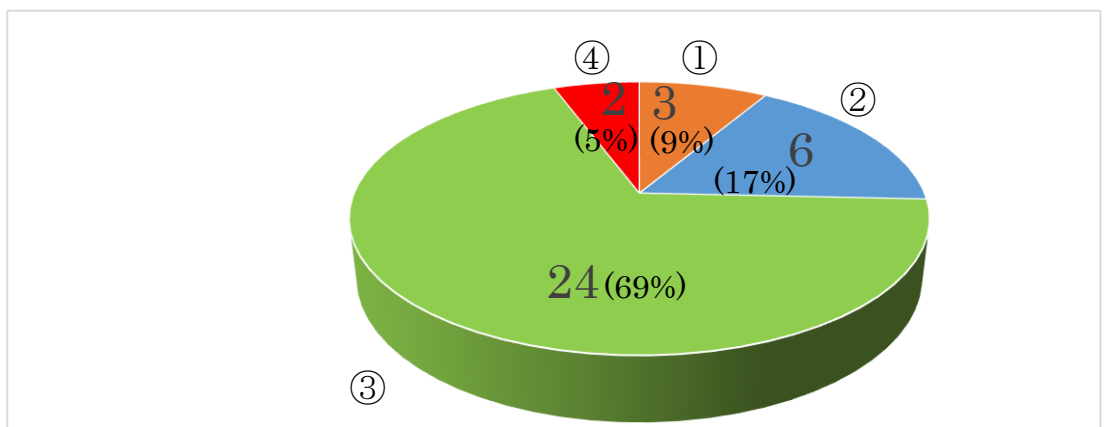


【2】 今回のモニタリングよりも前にコンポストを使用したことはありますか？



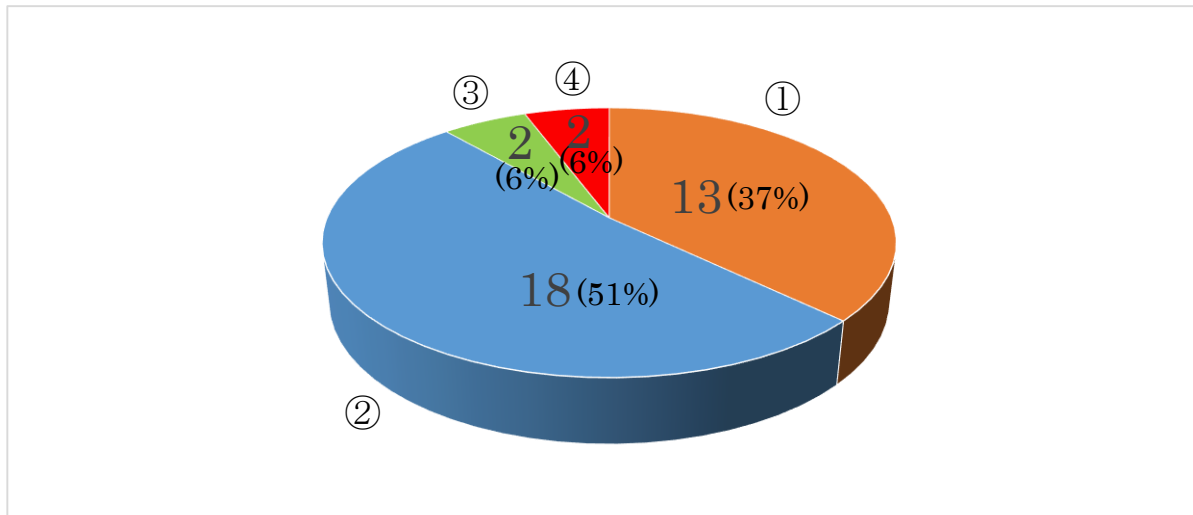
① あり… 4名 (11%)  
② ない… 31名 (89%) 合計 35名

【3】 今回、室内用コンポストを使用した期間はどのくらいですか？



① 1ヶ月以内… 3名 (9%)  
② 1～2ヶ月… 6名 (17%)  
③ 2～3ヶ月… 24名 (69%)  
④ その他… 2名 (5%) 合計 35名

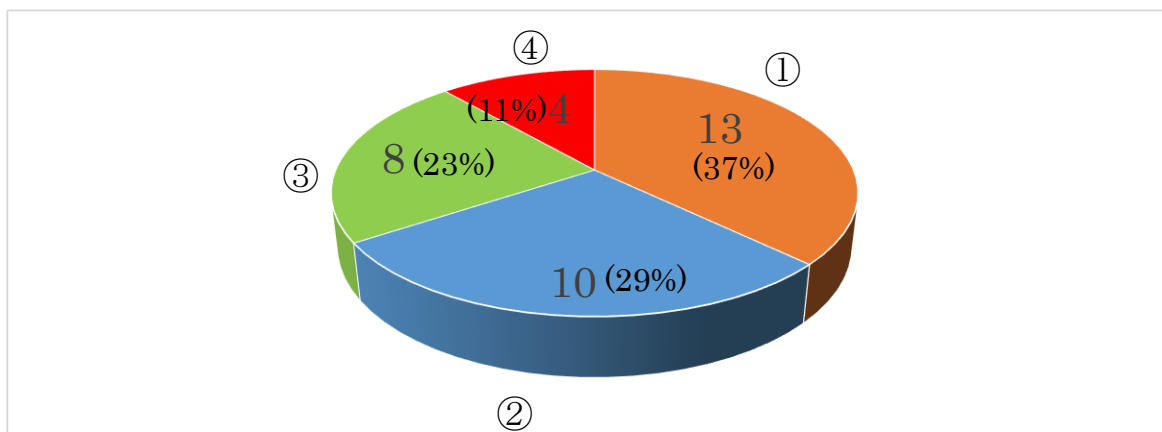
【4】一回当たりの生ごみの室内用コンポストへの投入量はどのくらいですか？



- ① ■ 片手で一つかみ (約200g) … 13名 (37%)
- ② ■ 片手で二つかみ (約400g) … 18名 (51%)
- ③ ■ 片手で三つかみ (約600g) … 2名 (6%)
- ④ ■ それ以上 … 2名 (6%) 合計35名

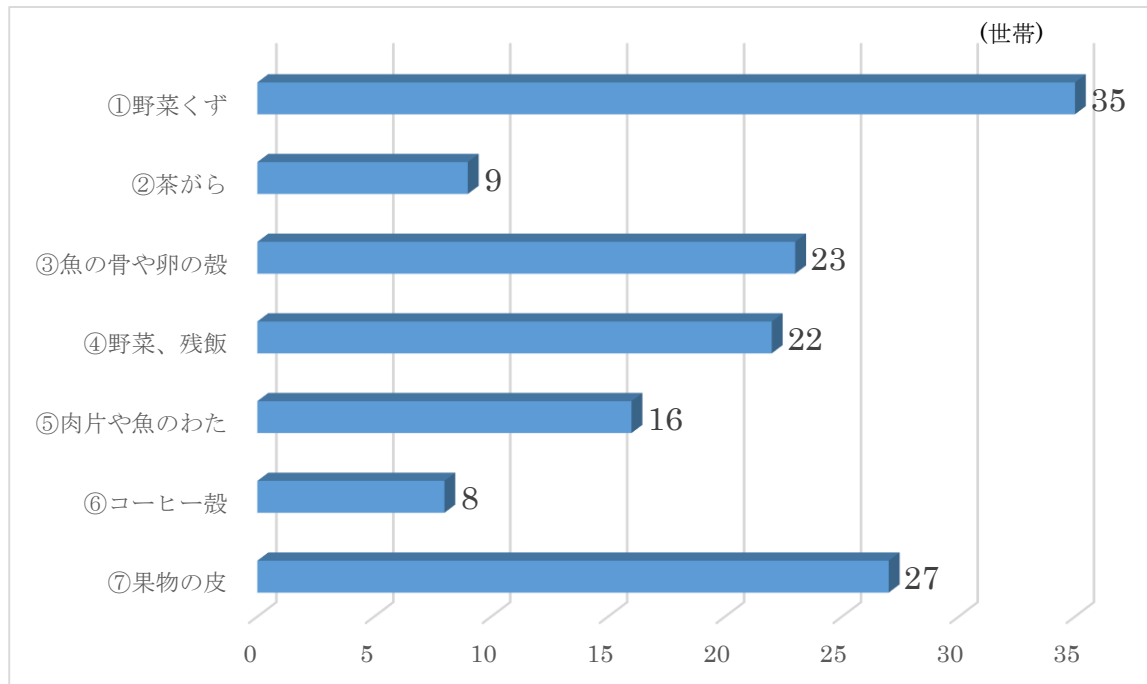
◆当市の全世帯(11,879世帯)が毎日、生ごみ(約349g)をコンポストに取り組むと仮定した場合、1年間に燃えるごみ1,513tが減量できることになる。

【5】生ごみの室内用コンポストへの投入頻度はどれくらいですか？

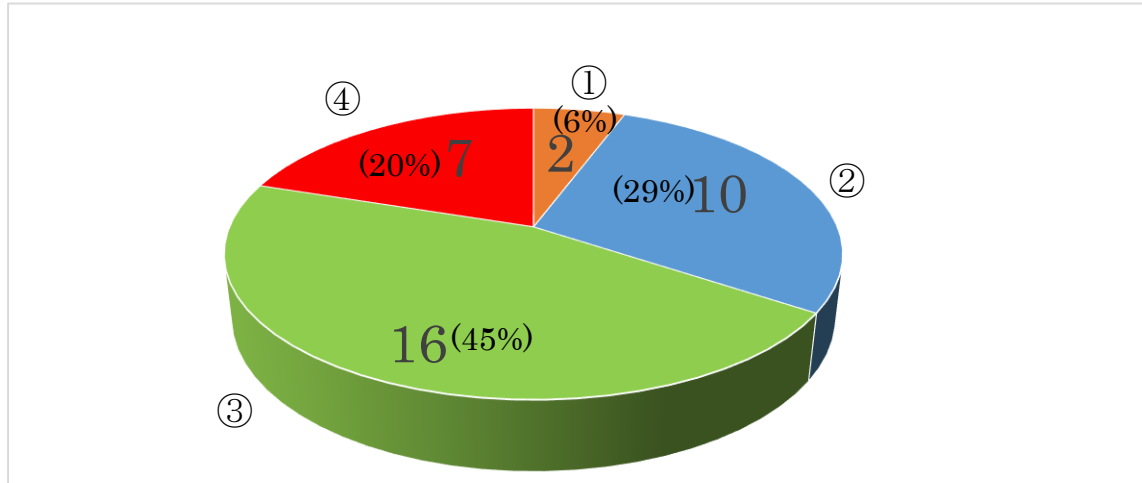


- ① ■ ほぼ毎日 … 13名 (37%)
- ② ■ 週に4, 5回 … 10名 (29%)
- ③ ■ 週に2, 3回 … 8名 (23%)
- ④ ■ それ以下 … 4名 (11%) 合計35名

【6】 どのような生ごみを入れましたか？（複数回答可）

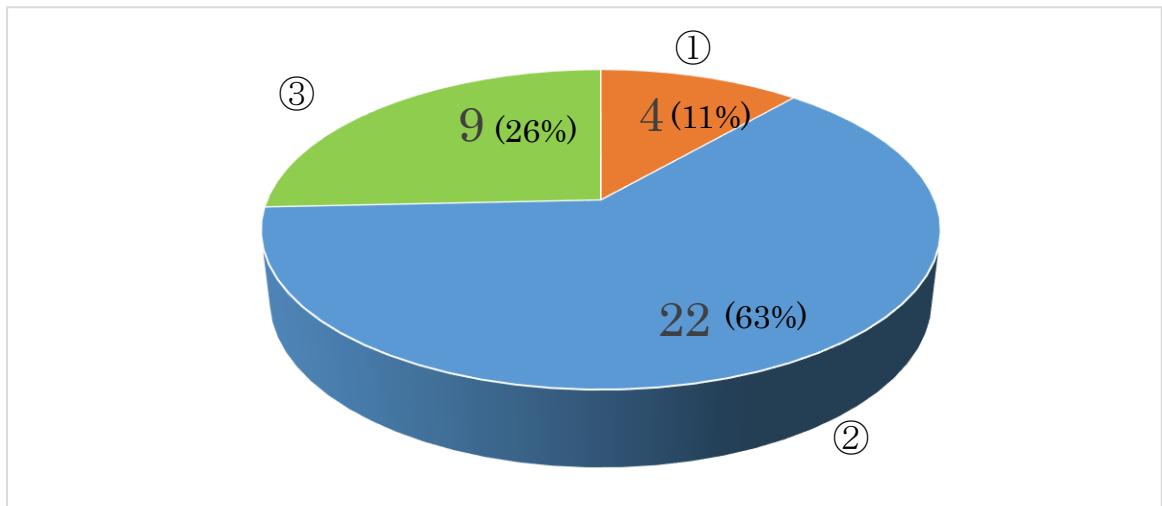


【7】 室内用コンポストを活用することによって、これまでと比べて燃やせるごみの排出量は減りましたか？



- ① 大きく減った… 2名 ( 6%)
  - ② 減った … 10名 (29%)
  - ③ 少し減った … 16名 (45%)
  - ④ 変わらない … 7名 (20%)
- 合計 35名

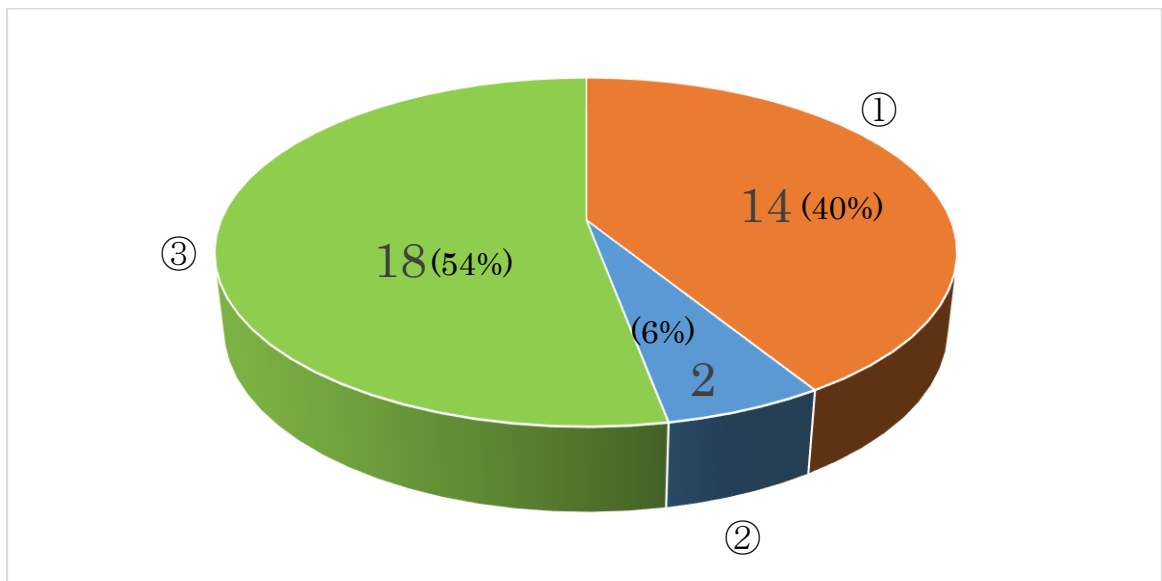
【8】室内用コンポストによる生ごみの処理状況はどのようなですか？



- ① ■ どんどん分解されている。 … 4名 (11%)
- ② ■ ゆっくりだが徐々に分解されている。 … 22名 (63%)
- ③ ■ なかなか分解が進まない。 … 9名 (26%)

合計 35名

【9】生ごみの堆肥化はうまくいきましたか？

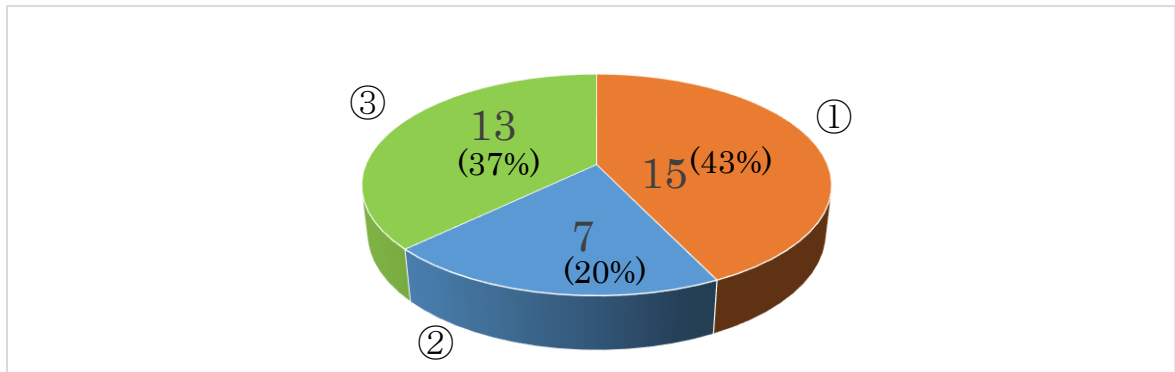


- ① ■ はい … 14名 (40%)
- ② ■ いいえ … 2名 (6%)
- ③ ■ わからない … 18名 (54%)

合計 35名

◆生ごみの堆肥化について、半数以上がわからないとの回答があった。  
堆肥化された状態がどのようなものか、サンプル等が必要であると考えられる。

【10】室内用コンポストを今後も使い続けたいと思いますか？



① 続けたい … 15名 (43%)

② 続けたくない … 7名 (20%)

③ どちらとも言えない … 13名 (37%)

合計35名

★①続けたい理由

- ・生ごみの量やにおいが気になったが、少しでも減量でき、野菜や花などの肥料として結果になることが嬉しい。
- ・においが気にならなかった。
- ・生ごみを減らすため始めたが、今は堆肥を作りたいという目的に変わった。
- ・野菜（家庭菜園）栽培に使用したい。
- ・自分で堆肥を作っていたが、コンポストの方が簡単である。
- ・燃やせるごみの排出量を減らせることにより、地球温暖化防止につながる。

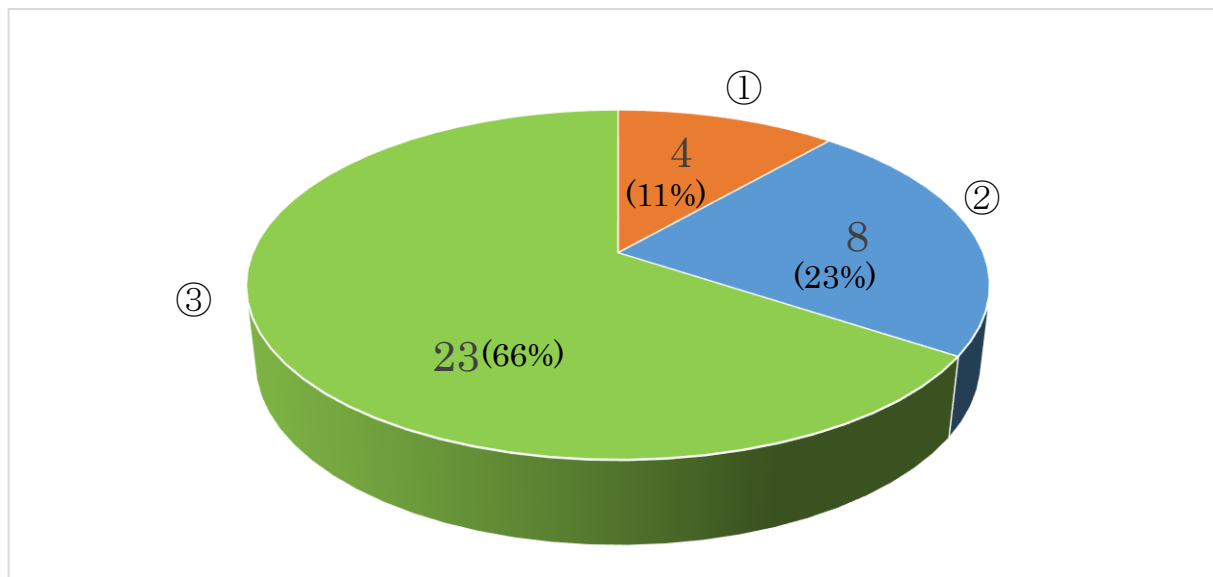
★②続けたくない理由

- ・果物の皮がたくさん出た時、分解が困難。
- ・1日2回かき混ぜるという作業が毎日だと面倒。
- ・小バエが発生し室内には置きたくない。
- ・生ごみの種類、投入する大きさなど、制約が多く面倒。

★③どちらとも言えない理由

- ・分解が追い付かず、これから寒くなると、更に分解に期待ができない。
- ・工夫しながら投入するのに手間がかかり、実用性が低い。
- ・分解が弱いので、土に埋めた方が良かった。
- ・梅雨に、一気にダニが増えてしまった。
- ・入れるものによってにおいが気になる場合、屋根付の外に置き、数日ごみを入れられないなど、毎日使用するものとしては実用的と言えない。
- ・置き場所が難しかった。
- ・当初、少し多めの生ごみを入れてしまい、土が熱くならなかった。
- ・交換用チップ代が高価なので考えている。

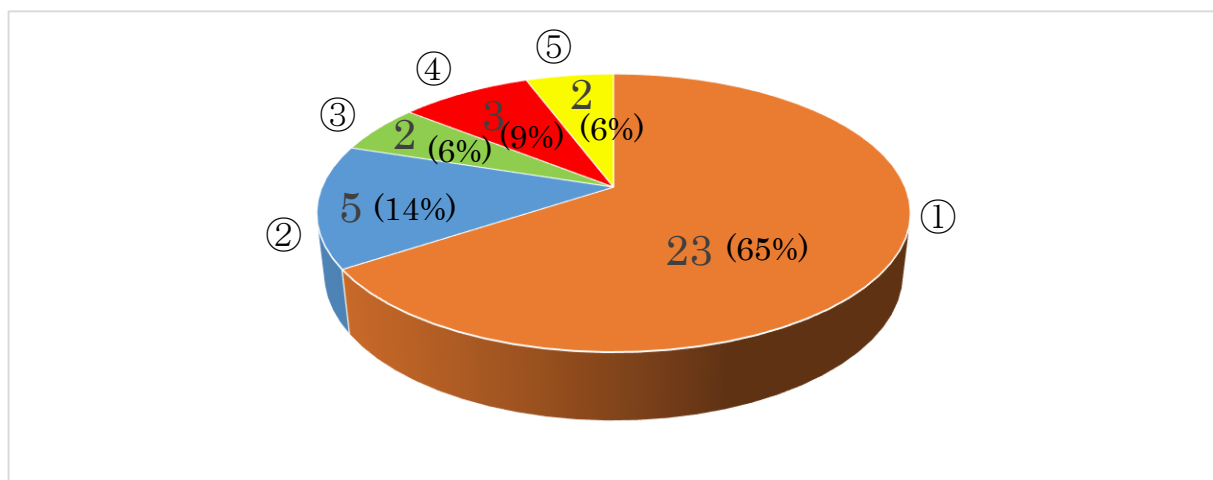
【1 1】 室内用コンポストを人に勧めたいと思いますか？



- ① 勧めたい … 4名 (11%)
- ② 勧められない … 8名 (23%)
- ③ どちらともいえない… 23名 (66%)

合計 35名

【1 2】 室内用コンポストでできた堆肥はどのように使用しますか？

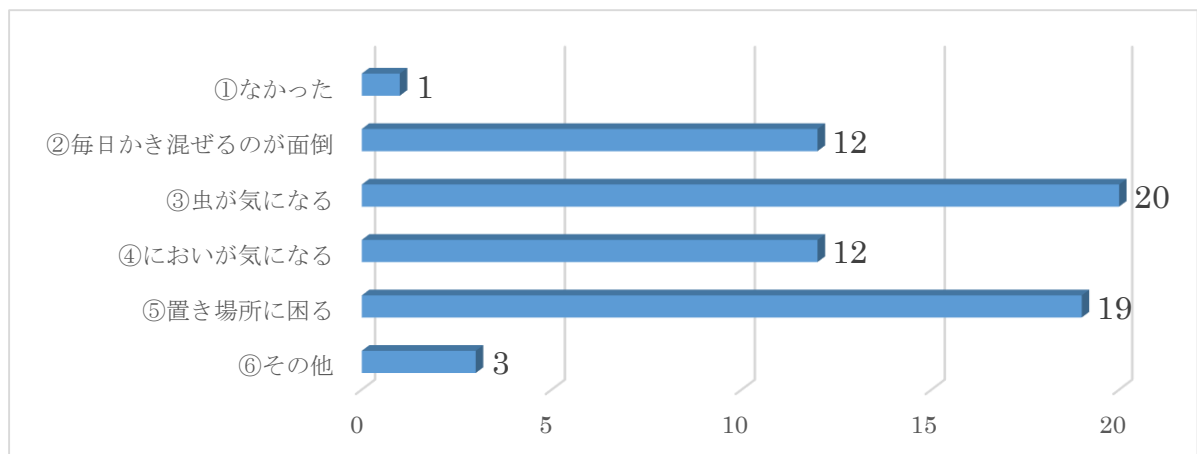


- ① 家庭菜園 … 23名 (65%)
- ② 鉢、花壇 … 5名 (14%)
- ③ 農地に利用… 2名 (6%)
- ④ 土にもどす… 3名 (9%)
- ⑤ その他… 2名 (6%)

合計 35名



【13】室内用コンポストを活用していて、気になったことはありましたか？  
(複数回答可)



【14】その他、意見や感想がありましたら、記入してください。

《臭気、虫》

- ・途中、チップと生ごみの固まりができたり、小バエが出てきたこともあり、太陽にあて風通しをするなど心配りが重要だと思った。
- ・时期的に暑かったので虫がたくさん発生した。生ごみの分解が遅かった。
- ・ダニがどうしても気になったが、水で流すと効果的であることが判明した。
- ・モニター期間が真夏で抵抗があったが、におい、虫は全く気にならなかった。2～3ヶ月朝、夕かきまぜる作業は面倒だった。
- ・勝手口に置いていたが小バエが毎日のように発生し駆除することが面倒だった。
- ・初めて使用したので、途中で虫が発生した時はやる気を無くした時もあった。コンポストを活用し、ガーデニングの堆肥にしたいと思う。
- ・虫は発生しないし、においも気にならない。

《水分》

- ・野菜くずなどは水に付けずに、小さく切るのが面倒だった。残飯など水気をきるのがうまくいかない。
- ・ベトベトに固まるのでコーヒー殻を乾かして投入すると効果があった。
- ・はじめは朝夜の2回投入から、現在は夜に水気を切り、朝のごみと一緒に1日1回入れるようにしている。1ヶ月過ぎた頃、コンポストの下に水が溜まり、袋も湿気で濡れてしまい、それからは週1、2回天気の良い日に干すようにしている。投入する生ごみを小さく切る方が、コンポストを混ぜるより面倒だった。最終的にどんな状態が堆肥化したのか知りたい。
- ・野菜の皮等をまとめ煮てダシをとり、その残りをコンポストに入れることによりすぐ分解されたが、水をかなり切っても、水分が多くなり、箱から出して乾燥させていた。置き場所に迷う。冬場は水分が飛ばないのでとは気になる。

## 《資機材》

- ・ごみ減量化にはとても良いことだが、結構手間がかかる。交換用チップ購入も少し考えてしまう。EMぼかしを使用したことがあるが、今回はにおいが無い方だった。毎日かき混ぜるのは楽しかった。現状では一般家庭に普及させることは難しいと思う。
- ・説明書のとおりやってみたところ、虫のトラブルもなくできた。交換用チップ代が安価なら続けたい。
- ・使いはじめの水を入れるところで土が熱くならなかった。
- ・コンポストが小さいので、発泡スチロールなど大き目の箱でかき混ぜた。
- ・コンポストを使用することで、直接ごみの減量化だけでなくリサイクルなどにも関心が向けられ、結果、毎週出るごみの量が減った。生ごみと雑紙ごみの減量によって家庭ごみが半分くらいになることがわかった。
- ・アパート住まいでの利用は難しいと思うが、戸建ての各家庭に1つずつ普及すれば、かなりごみの量が減るのでは。交換用チップが市内でもっと簡単に買えるようになってほしい。

## 《取組み》

- ・とても良い取組みだと思うが、やはり室内だと置き場所、におい、虫問題があり、なかなか思ったようには使えなかった。
- ・安価で室内外で使用できるその家庭に合ったサイズのコンポストが多く普及していけば、有機野菜作りを目指す人が増えるのではないかと思う。
- ・使用して色々気になる点はあったが、ごみが減る、堆肥を作れると思うと続けられた。

## 《その他》

- ・スイカ、メロンやりんご、とうもろこしを食べた時はたくさん出るが、普段はそれほど生ごみは出ていないと思った。
- ・いい経験ができた。
- ・冬はどうしているのか疑問が残る。
- ・外の雨のあたらない所（物置）に置いているが、冬になるとかき混ぜる回数が減りそうな気がする。
- ・生ごみは一度火を通してから混ぜるなど工夫が必要で、毎回の作業を面倒に感じた。

## //////////まとめ//////////

応募者の家族構成は、2～3人の小規模世帯が多い。コンポストの説明書を読んで使用した人と、読まないで使用した人では、大きく成果が分かれたように思われる。家庭菜園を普段おこなっている人には、生ごみの減量化という側面と堆肥として再利用できる側面から、好評だった。

においや虫が気になったとの意見が多かったが、虫の発生についてはコンポストの置き場所によっても違いがある。時期が夏場ということもあり、春や秋に実施す

れば、虫なども減る。

コンポストを使用したことにより、生ごみの減量化が進み家庭ごみが明らかに減少したという意見も多い。説明書をきちんと読んでもらうよう事前に説明することが必要であった。

用意したコンポスト50個は、すぐ在庫が無くなり、その後の希望者が10人以上いたことから需要が高く、コンポストの普及が広まっていくと考えられる。